

街歩き オススメスポット

日本の道百選の記念碑



一ノ関駅西口を出て西方面に100mほど行ったところに、日本の道百選の記念碑があります。昭和61年に、建設省（現在の国土交通省）が、8月10日を道の日に制定したことを記念し、日本の道百選を選定しました。その一つに、一関市の市道金沢線（花泉地域）・岩ヶ崎線（一関地域）が「芭蕉行脚の道」として選定されました。芭蕉一行がおくこのほそ道の旅の途中に通った道であると考えられています。

追街道分岐点の道標

一ノ関駅西口を出て南方面に向かい、由緒ある八幡神社、願成寺を見やりながら進むと、程なく奥州街道と追街道の分岐点に着きます。この道を右手に進んだところに、分岐点にあった道標があります。（道路の拡幅により現在地に移動されました。）道標は、元文元年（1736）に建立されたもので「これより右はさま道左へせんだい道」とあります。せんだい道とは、仙台へ行く道、つまり奥州街道のことです。



奥の細道ポケットパーク



一ノ関駅西口を出て先賢の路を西方面に向かい、歴史の小道を辿って地主町方面に進むと、市営地主町駐車場の一角に奥の細道ポケットパークがあります。パーク内には、おくこのほそ道のゆかりの地を紹介する案内看板や、芭蕉一行が一関に滞在したことが記された首長日記の碑があります。芭蕉一行は、この近辺に宿をとったと考えられています。東屋があるので、散策のひと休みにおすすめです。

世嬉の一酒の民俗文化博物館

昔ながらの酒づくりを紹介する施設で、島崎藤村をはじめ、一関ゆかりの文学者を紹介する「文学の蔵」も併設しています。



大槻三賢人像



一関に生まれ、江戸で蘭学を学んだ大槻玄沢。開国論者として知られる儒学者の大槻玄沢。蘭国語辞書「言海（げんかい）」を著した大槻玄沢。いづれの大槻三賢人の像が一ノ関駅前（西口）に設置され、一関を訪れる方を迎えています。

カフェ 徳蔵

ちよつとひとやすみ

世嬉の一酒造の敷地内にある酒蔵を改装したレトロなカフェ。コーヒーや紅茶、自家製ケーキをはじめ、地酒、地ビールも楽しめます。隣接しているレストランでは、一関の郷土料理「もち」を味わうことができます。



先賢の路

一ノ関駅を出ると目の前にまっすぐのひる通りが上ノ橋通りと呼ばれる通りです。通りには、建部清庵や長沼守敬など一関出身の賢人たちを紹介する案内板が設置され、散歩を兼ねて歩いてみる賢人たちに出会えます。



街歩き MAP

釣山公園

一関市の中心部に流れる磐井川にかかる上ノ橋のすぐ南、標高約90mの小高い丘の上にある公園です。春は桜の咲き誇る、秋には鮮やかな紅葉が楽しめる場所です。春と秋には夜間のライトアップも行われます。公園内には高平小五郎の碑があります。



浦しま公園

旧一関藩主であった田村家の迎賓館跡を利用した公園です。純和風庭園にはさまざまな草花や樹木が茂り、四季折々の庭園美を満喫できます。



旧沼田家武家住宅

江戸時代後期に一関藩家老を務めた沼田家の住宅で、18世紀初頭から中頃に建築されたと推測されています。約300年の歴史をもち、当時の武士の暮らしを垣間見ることが出来る貴重な建物です。一関市が建物修復と環境整備を行っており、一般公開しています。



N.S.Pメモリアルスポット

磐井川の堤防の上には一関工業高等専門学校出身者によるフォークグループ「N.S.P」のメモリアルスポットがあります。上ノ橋と磐井橋の間の堤防の上（駅側）にギターをモチーフにしたベンチがあり、夏場は毎日17時-18時、19時に、N.S.Pの代表曲である「夕暮れ時はさびしう」が流れます。



磐井川聖観音

昭和22・23年（1947・1948）に一関地方を襲ったカスリン、アイオン両台風で犠牲となった住民などを慰霊するため、昭和33年に磐井川堤防に建立されました。堤防改修工事により、一時移動されていましたが、平成28年（2016）に元の場所に戻されました。



磐井川水天宮

水難者を慰霊し水魔を払おうと昭和2年（1927）に磐井川河川敷に建立され、堤防改修工事により現在地に移転整備されました。水天宮は一関夏まつりとゆかりが深く、例大祭は祭りシーズン到来を告げる恒例行事となっています。また、水天宮がある通りには「ちよつとひとやすみ」が開催されます。



一関八幡神社 相殿 田村神社

一関の総鎮守、一関八幡神社は、前九年合戦さなかの康平4年（1061）に源義家が勧請したと伝えられます。元々は御館山（釣山公園の場所）に鎮座していた社殿を、伊達兵部宗勝が現在の地に移しています。その後、田村家が一関に赴任した時に、田村神社を相殿として勧請しました。

願成寺

白馬山願成寺は曹洞宗の寺院で、正法寺（現奥州市）の末寺にあたります。至徳2年（1385）に正法寺二世月泉和尚の弟子の梅栄元香和尚によって開山されました。願成寺所蔵の木造薬師如来坐像が岩手県指定文化財、木造不動明王坐像が一関市指定文化財になっています。

祥雲寺

一関藩を治めた田村家の菩提寺です。前身は岩沼（現宮城県岩沼市）にあった長谷山大慈寺で、田村建頼が天和2年（1682）に一関へ移封されたのに伴い現在地に移り、祖母の法名をとって大慈山祥雲寺と改めました。一関藩主田村家の墓所があり、歴史の一端に触れることができます。

やぐらの広場

一関藩主田村建頼が、幕府から内々に許可を得て享享3年（1686）7月1日に太鼓輪を設置した場所です。太鼓は当時の一時ごと（1日12回）に鳴らされ、時の太鼓と呼ばれました。現在、時の太鼓（市指定有形文化財）は藩主の祈願寺であった長昌寺に所蔵されています。

二代目時の太鼓

時の太鼓は江戸時代、城下町に時刻を告げるため、一関藩が幕府から内々に許可を得て当時の一時ごと（1日12回）に鳴らされ、時の太鼓と呼ばれました。その太鼓は長昌寺に所蔵されています。「二代目時の太鼓」は、東北新幹線開業を祝い製作され、JR一ノ関駅新幹線コンコース内に展示されています。

一関図書館・Cafe Journal

蔵書数34万冊の一関市の中核図書館です。芭蕉に関する資料等多数の郷土資料を所蔵しています。一関市外の方も利用が可能です。施設内にはカフェもあり、ドリンクメニューが豊富で自家製の焼き菓子も味わえます。



ちよつと足を伸ばして博物館へ

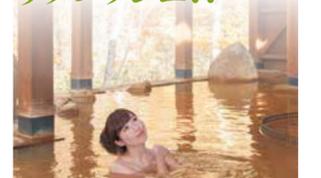
一関市博物館
刀剣や和算など、一関地方の特色ある歴史や文化を紹介。芭蕉が旅したところの一関の絵巻も所蔵しています。
☎0191-29-3180
県交通観光線「巖美」下車徒歩5分
9:00~17:00 月曜休 入館料一般300円

平泉文化遺産センター
平泉の文化遺産の魅力パネルや映像などで紹介しています。芭蕉に関するパネル展示も行っています。
☎0191-46-4012
JR東北本線「平泉駅」下車徒歩15分
9:00~17:00 入館無料

街歩きオススメコース

コース	起点	終点	所要時間	距離
1 芭蕉の道を網羅コース	一ノ関駅	日本の道百選の記念碑	2分	140m
	大町通り散策	4分	300m	
	浦しま公園	5分	300m	
	奥の細道ポケットパーク	3分	240m	
	二夜庵跡	2分	180m	
	磐井川水天宮	1分	70m	
	世嬉の一酒の民俗文化博物館	1分	40m	
	N.S.Pメモリアルスポット	3分	210m	
	旧沼田家武家住宅	5分	400m	
	旧沼田家武家住宅	2分	170m	
	やぐらの広場	5分	400m	
	釣山公園	9分	600m	
	一関八幡神社	9分	650m	
	追街道分岐点の道標	15分	1200m	
カッパ崖	14分	1100m		
一ノ関駅				
2 ぶらり街歩きコース	一ノ関駅	大町通り散策	6分	400m
	奥の細道ポケットパーク	8分	650m	
	二夜庵跡	2分	180m	
	磐井川水天宮	1分	70m	
	世嬉の一酒の民俗文化博物館	1分	40m	
	旧沼田家武家住宅	5分	400m	
	やぐらの広場	2分	170m	
	図書館・文化センター昇限	2分	180m	
日本の道百選の記念碑	5分	400m		
一ノ関駅	2分	140m		

トレッキングでひと汗かいたら...
一関温泉郷でリフレッシュ!!



詳しくはパンフレットをご覧ください
いち旅温泉郷パンフレット